



2011年7月1日発行
第229号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

新旧会長挨拶

会長就任にあたり



市川團十郎

この度、全国骨髄バンク推進連絡協議会の会長を拝命いたしました市川團十郎でございます。真に私などには会長という大役が勤まるかと思いましたが、主治医の先生を介してお話でしたので、謹んでお引き受けすることになりました。

初代会長は、海部元総理の夫人である幸世さんが勤められ、2代会長は、大谷貴子さんが勤められました。私が大谷さんにお目にかかったのは、数年前に開かれた東京でのイベントの時です。大谷さんが骨髄バンクの発展や治療に際する不妊対策などに本当に熱心に取り組まれ、長くこの協議会で奮闘されてきた姿には、敬意の念を抱かざるを得ませんでした。

その大谷さんが退任を決意されたのは、今年で21年目を迎えました。会長という大任を仰せつかりましたが、皆様方の代表という

には、まだよちよち歩きでございます。しかし、全国協議会が少しでも世間に認知されるよう、そしてドナーの皆様への存在のかけがえのなさを訴えられるよう、努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆様方のお力添えをお願いいたします。最後に、これまで支えてくださった大谷会長に敬意を表し、ご挨拶に代えさせていただきます。

退任にあたって

大谷 貴子

この度、当協議会の会長を退任するにあたり、皆さま方への感謝の気持ちを込めて、ご挨拶を申し上げます。

去る3月11日の大震災におきまして、多くの方々が被災され、また、多くの尊い命を落とされましたことに、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。私達の大切な仲間、そして、仲間のご家族も今は、天国から復興を見守ってくださいているかと思ふと、本当に悲しい気持ちでいっぱいなんです。

さて、私ごとではあります

が、会長職を辞したのとほぼ同時に50歳の誕生日を迎えました。白血病を発症したのが25歳、丁度、倍の命をいただきました。多くの仲間と一緒にその設立、充実を訴えてきた骨髄バンクがこの年末には、日本に誕生してから20年の節目を迎えます。

ありがたいことに会長職を市川團十郎さまにお引き受けいただき、私は、また、原点に戻り、骨髄バンクのみならず医療の充実を訴えていきたいと考えております。

振り返れば、多くの方々と知り合える骨髄バンク運動でありました。悲しくも天国にお見送りしなければならぬ患者さんも多くありました。当初は、ドナー探しをするも時間切れが多く、本当に悔しい思いを何度も経験しました。航空会社にお勤めだったある方は、飛行機を駆使し、日本全国を歩いて、ドナー探しをしておられました。

悲しい体験を重ねた20年でしたが、同時に患者さんの進級、進学、就職、結婚、出産等の嬉



職員会議の様子

しい報告を聞く機会が増えてきました。ひとえに、ドナーを含むボランティア、医療関係者、いえ、国民の皆さんすべての方々のお陰です。

最近、また、新たな嬉しい連絡もいただきました。15年前、安城市(愛知県)の小学六年生に講演に行きました。その中の一人の少年が、この講演をきっかけに、医師をめざし、その後、浪人生活を経て、医学部に進学、念願の血液内科医になつていたので、この少年が今、多くの血液難病の患者さんを助けるべくさらに勉学に勤しんでいる姿

を想像するだけで、この国の未来が明るくなる気持ちがします。私には、とてもありがたい骨髄バンク運動でした。この運動をさらに続けていく所存であり、また、「人財産」をさらに増やしていきたいと思っております。

多くの方々に応援していただきながら大過なく会長職を終えることができました。本当に感謝しています。そして、これからも、自分にできることを皆様方と一緒に考えていければ、これ以上の幸せはありません。

本当にありがとうございます。

就任記者会見 期待と抱負、團十郎さんの熱い言葉

大垣大会当日の6月4日、大垣スイトピアセンター・スイトピアホールにおいて、新会長就任披露記者会見が開かれました。



新会長就任披露記者会見の様子

はじめに菅事務局長が全国協議会について紹介し、市川新会長からの就任にあたっての挨拶、そして大谷会長から市川新会長へのエールと続きました。会場に詰めかけたマスコミ各社からの相次いで質問に、市川新会長はご自分の闘病経験をふまえて患者さんやその家族がおかれていらっしゃる環境に言及され、「少しでも改善されるため活動に可能な限り力を傾注したい」と、その決意を語られていました。

また、大谷会長も「会長職を退きはしますが、これからも出る範囲でバンク活動を継続していきたい」と、心強くエールを送り、明るい雰囲気の中、記者会見は無事終了しました。

加盟団体の減少など全国協議会の組織力・結集力の低下、加盟団体との意思疎通や組織運営上の問題点などについて、厳しい意見が相次ぎ、また人手や資金不足に悩む加盟団体への支援や、会費問題についても意見が出されました。

総会は予定時間を約1時間超過しましたが、新役員の選任を含めた全議案が賛成多数で可決されました。

今回の総会では全国協議会の抱えている課題があらためて浮き彫りになりました。今後、全国協議会の改革に向けて、加盟団体の代表も加えた検討委員会を設置し、議論を進めていく予定です。

参加者全員の大きな拍手で、大谷さんへ感謝を捧げました。



総会の最後に、大谷貴子会長から退任の挨拶があり、今後とも全国協議会の仲間と共に活動していくことが表明されました。

2011年度 第1回代表者会議を開催

総会に引き続き、同じ会場代表者会議が開かれました。

まず全国協議会から、昨年度から始めた共催事業についてと東日本震災被災患者支援基金についての説明が行われました。

共催事業については、申請や終了後の資料提出に関する注意事項、変更となった申請回数、提出額についての説明が行われました。また今年度の申請の参考にしようとして、昨年度の実績一覧が提示され、各地の活動が紹介されました。昨年度は受付件数は26件、申請団体数は18件で24件の事業が承認され、各地での活動報告が行われ、各地でのドナー登録の様子、イベントでの普及啓発活動等の報告に加え、会員減少への対応策、日赤との連携などの課題も提示されました。骨髄バンク事業が20年を迎え、皆さんの努力で様々な工夫もなされ、骨髄バンクボランティア活動がメジャーになったことを実感すると共に、長きに渡る、地域に根ざした活動を続ける各地団体のご苦労、大変さが浮き彫りになった代表者会議となりました。

心からのご寄付に 感謝申し上げます

5月21日～6月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	10,000円
㈱タクトコーポレーション	現金	10,000円
エグゼキューブ㈱	現金	2,800円
美濃加茂青年会議所	現金	30,000円
大宮シティーロータリークラブ	現金	20,000円
㈱ハローデイ	現金	350,000円
㈱サカタのタネ	現金	356,310円
福井 大	現金	30,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
島田 幸子	現金	50,000円
飛田 行康	現金	5,000円
鈴木 純子	現金	1,340円
山田 康博	現金	9,880円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
勸東京都スキー連盟	現金	7,377円
徳友会市村歯科クリニック	現金	18,832円
根本 満喜子	現金	860円
二華会 西洋子	現金	5,000円
櫻井 洋子	現金	5,000円
峯 カズミ	現金	2,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
東京マリーノロータリークラブ	現金	200,000円
北海道協会札幌支部(土田英順チャリティーコンサート)	現金	50,000円
MRIインターナショナル, INC.	現金	34,000円
MRIインターナショナル, INC.	現金	26,000円
トリイ ハルヒコ	現金	10,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

2011年度通常総会を開催

6月5日、大垣市スイトピアセンター学習館において、全国協議会の2011年度通常総会が開催されました。

理事会からの報告・提案に

続き、加盟団体代表からは、2010年度事業報告および2011年度事業計画を中心に、多くの質問や意見が出されました。



総会の最後に、大谷貴子会長から退任の挨拶があり、今後とも全国協議会の仲間と共に活動していくことが表明されました。

参加者全員の大きな拍手で、大谷さんへ感謝を捧げました。

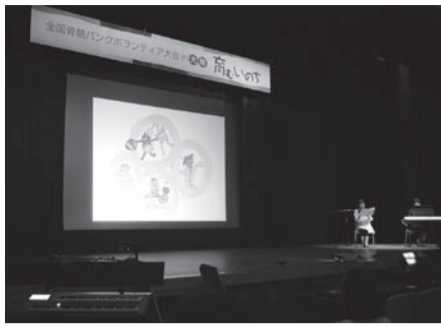
2011骨髄バンク ボランティア大会in大垣

「育むいのち」は「育むいのち」が一度の全国各地のみんなが結集する集い「全国骨髄バンクボランティア大会in大垣」(全国協議会主催、岐阜骨髄献血希望者を募る会主催)が、6月4日岐阜県大垣市スイトピアセンター文化ホールで開催されました。

「育むいのち」をテーマに掲げた今年の大会には、全国のボランティア及び地元岐阜県民・大垣市民の皆さん合わせて約300人が参加しました。

オープニングは映像「笑顔がありがとう」。病と闘った子ども達のとびきりの笑顔で生きることの大切さを訴えました。

次の「マリアンナとバルーシャ」はビデオメッセージを寄せてくださった女優・東ちづるさんの絵本作品です。地元で活動するWingの心にしみる丁寧な読み聞かせに皆さん心がなごんだことでしょう。



今回の大会が最後となる大谷会長の挨拶に始まり、厚生労働省、岐阜県、大垣市から来賓から祝辞をいただきました。その後、次期会長となる歌舞伎俳優・市川團十郎さんが初めてみなさんの前に立ち、これからの抱負を交えて挨拶をいたしました。式典の最後に、骨髄バンク運動を支援して下さった8団体へ大谷会長から心をこめて感謝状をお贈りしました。

記念イベントとして、「命はいつでも輝いている!みんな同じ命!」をテーマに大谷会長の進行でパネル展でも注目された横幕航平君のお母様・横幕真紀さん、骨髄バンクを介した骨髄移植で元気になり、今は看護婦として活躍する川崎美智子さん、大垣市社会福祉協議会で職員として働くドナー経験者の竹中望さん、そして大震災と津波の被災地石巻から宮城の会・小野喜



代人さんをパネリストに、思いの「いのち」を語っていただきました。途中からは市川團十郎さんも壇上に上がり、ご自身の闘病生活を語られました。プログラム最後はリトミックGifuの子ども達によるミュージカル「いのちの海」でした。みなぎる力を身体全体で表現した子ども達の姿は、まさに「育むいのち」そのものであり、観客のみならず元気にパワーを贈ってくれたものと思います。

配布資料には「おもてなし協力店マップ」もあり、大垣の皆さんの温かく行き届いた心遣いに、また新たな活動への活力を頂いた大会となりました。



◆パネル展
全国大会の会場に入って、まず目に付いたのはパネル展だったのではないのでしょうか。「笑顔がありがとう」と題して、「あやちゃんの贈り物」をはじめ、パネリストスカッションにも参加された宮城県石巻の小野さんの愛息「さつと」の笑顔、近隣静岡の「青空の天使たち」、そして今回初お披露目となった「ずっとそばにいるよ!航平」など、病と闘った子ども達のバネルが数多く並びました。

写真や説明文を読むと、撮影当時のお子さんやご家族の心情が思われ、おそらくご覧になった多くのみなさんは胸がいっぱいになったことでしょう。これらのバネルを更にみなさんに印象づけたのは、良く練られたディスプレイの効果だったかもしれません。地元・岐阜経済大学「HIGE☆BU」や公式ドッジボールチーム「ガッツボーイズ」、そして岐阜市民病院小児科の子どもと親の会「まるつけ」のみなさんの思いがこめられた作業のおかげでしょう。今回の展示手法は各地団体の皆さんにも参考になったのではないのでしょうか。

◆主管団体より
全国骨髄バンクボランティア大会in大垣「育むいのち」につきまして、全国各地から大垣にお越しいただき誠にありがとうございました。皆様をお迎えする者として、大会の運営はもちろん、大垣を楽しんでいただけたか今だに気がかりで、あすれば良かったと思うことばかりです。

◆参加者の感想
「育むいのち」に参加して大会当日に行われたミュージカルは、4月に上演されたもののダイジェスト版でしたが、全

東日本大震災被災者支援基金

5月21日～6月20日(合計2,472,764円)

株式会社洋伸	現金	15,581円
らいらっくの会	現金	30,000円
大垣大会募金箱	現金	21,936円
宮坂 茂雄	現金	3,000円
長谷川誠・敦子	現金	10,000円
上法 ワカ子	現金	20,000円
東原 順子、板橋 成	現金	50,000円
北山 瑛子	現金	10,000円
田広 真理	現金	10,000円
堀内 智恵子	現金	3,000円
南川 英則	現金	10,000円
関 つたえ	現金	2,000円
渡邊 忠俊	現金	10,000円
川嶋 幸子	現金	3,000円
星野 道子	現金	2,000円
ゴトウ ヒロコ	現金	20,000円

基金積み増しにご協力ください
●郵便振替(通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
00150-4-15754
●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951



◆次回開催地として
東日本大震災での自粛ムードの中で開催された全国大会は、会場に足をふみ入れた瞬間、スタッフや皆さんのボランティアの方々に笑顔で迎えられ、開催地、岐阜の皆さんの心温まる歓迎に満足と感謝の気持ちでいっぱいになりました。パネリストスカッションでは、まさに「育むいのち」のテーマを素のままに、感動の輪が広がった心に残る大会でした。今回は、青森で全国大会が開催されます。大震災の傷跡がまだまだ癒えないなか、全国の皆様からの温かい声援の下に「がんばろう!東北」を「がんばったね!東北」として「来てみてよかったです!青森」と声を掛けていただけたよう、素晴らしい大会の開催を素晴らしかったです。大垣にお手本に東北の地、青森の皆様をお待ちしております。

◆日本骨髄バンクの現状(平成23年5月末現在)
4月 5月 現在数 累計数
ドナー登録者数 2,048 2,756 383,337 500,745
患者登録者数 195 210 2,679 32,963
骨髄移植例数 92 104 - 12,975
20歳未満ドナー登録者 - 288 14,917*1 -
51歳以上ドナー 236*2 98*3 22,888*4 -
注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月～ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月～

骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンク NOW

(財団マンスリーJMDP (6月15日発行)より抜粋)
●累計ドナー登録者数が50万人に
平成23年5月末日現在の集計で累計のドナー登録者数が50万人を超え、500,745人になりました。
●東日本大震災に関わる患者負担金支払い猶予のご案内について
財団ではこの度の震災で被災された患者さんを対象として、患者負担金の支払い猶予の特別措置を講じることといたしました。詳細は財団のホームページをご参照ください。
●患者負担金の支払いに関する連帯保証人について
骨髄バンクを利用する際の患者負担金については、ほとんどの患者さんやそのご家族にお支払いいただいているところですが、まれに患者さんがお亡くなりになったケース等で、再度の請求を行ってもご家族から負担金をお支払いいただけない場合があります。
医療機関において、入院時に連帯保証人を明記した支払保証書を提出する場合と同様、財団でも患者登録の際に、患者さんから負担金の支払義務者の方とは別に、連帯保証人の方を明記していただくよう、7月から変更することとしました。通常は支払義務者の方からお支払いいただけない場合は、連帯保証人の方に請求させていただきます。
●ACの支援キャンペーン再開
7月から3年ぶりにACの支援キャンペーンが再開されます。今年は3人の骨髄提供経験者の方が登場して、テレビCMをはじめラジオCMや駅貼り広告等、様々なメディアを通じて骨髄バンクのドナー登録を呼びかけます。
■5月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/1,007人、献血併行型集団登録会/1,676人、集団登録会/0人、その他/73人

◆初めて参加して
2年前に地区普及広報委員になってから財団の大会には参加していましたが、全国協議会の大会に出るのは今回の大垣大会が初めてでした。ところが慣れない土地のせいか電車に乗り遅れてしまい、会場に着いた時は、式典も終了しパネリストスカッションも終盤でした。ぜひともと期待していた次期会長・市川團十郎氏の姿をこの目で見ることはかなったのでホッとしました。これで見やげ話ができます。結局すべては見えていないのでなにか感想あるだろうと言われるまでも、実は分からないというのが正直なところ。しいて言えば、財団の大会との違いが分からなかったのですが、大会というものは式典内容に既定のパターンがあるもので、そんなものだと思います。だから財団、協議会いっしょにやってもいいのでは?というのが感想です。
主催者および地元で準備に関わった皆様、ありがとうございました。大垣で飲んだお酒はおいしかったです。スイトピアからの帰路、八幡神社境内の自噴水を汲み取りに来ている住民の姿を見て、さすが水都だなど感

4月	5月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,048	2,756	383,337
患者登録者数	195	210	2,679
骨髄移植例数	92	104	-
20歳未満ドナー登録者	-	288	14,917*1
51歳以上ドナー	236*2	98*3	22,888*4

◆次回開催地として
東日本大震災での自粛ムードの中で開催された全国大会は、会場に足をふみ入れた瞬間、スタッフや皆さんのボランティアの方々に笑顔で迎えられ、開催地、岐阜の皆さんの心温まる歓迎に満足と感謝の気持ちでいっぱいになりました。パネリストスカッションでは、まさに「育むいのち」のテーマを素のままに、感動の輪が広がった心に残る大会でした。今回は、青森で全国大会が開催されます。大震災の傷跡がまだまだ癒えないなか、全国の皆様からの温かい声援の下に「がんばろう!東北」を「がんばったね!東北」として「来てみてよかったです!青森」と声を掛けていただけたよう、素晴らしい大会の開催を素晴らしかったです。大垣にお手本に東北の地、青森の皆様をお待ちしております。

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月～ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月～



大垣出身漫画家・大今良時作のバネルがお迎え

動しうらやましく思いました。(かごしまの会 大田耕一郎)